

第4章 保健医療サービス体制

4-1 行政機構

「ア」国は行政機構上、18州から成り立っている。首都はルアンダであるが、市域は明確化されておらず、一般的にはCACUACO郡とVIANA郡の全域、及びSAMBA郡とKILAMBA KIAXI郡の地方を除いた人口密集地域をルアンダ市と呼んでいる。首都の位置するルアンダ州は9つのMunicipal（ここでは「郡」と呼称）に区域化されており、更に各郡下はCommunity（ここでは「町」と呼称）と呼ばれる町域がある。ルアンダ州の中心部はINGOMBOTA郡及びMAIANGA郡周辺であり、大統領官邸をはじめ諸官庁が位置し、ビジネス活動の拠点地域となっている。人口密集地域はCAZENGA郡及びMAIANGA郡の地方部、更にKILANBA KIZIXI郡など、首都圏を囲み帯状に広がっている。

表4-1 「ア」国の州構成

州 名	1996年人口	州 名	1996年人口
1. Luanda	2,022,000	10. Moxico	360,000
2. Huambo	1,730,000	11. Lunda Norte	320,000
3. Bie	1,280,000	12. Cunene	255,000
4. Malange	1,020,000	13. Zaire	262,000
5. Huila	954,000	14. Bengo	190,000
6. Uige	985,000	15. Cabinda	199,000
7. Kwanza Sul	710,000	16. Lunda Sul	165,000
8. Benguela	718,000	17. Kuando Kubango	139,000
9. Kwanza Norte	440,000	18. Namibe	154,000
18州の合計人口		11,903,000	

（出所：「ア」国統計局 1999年資料）

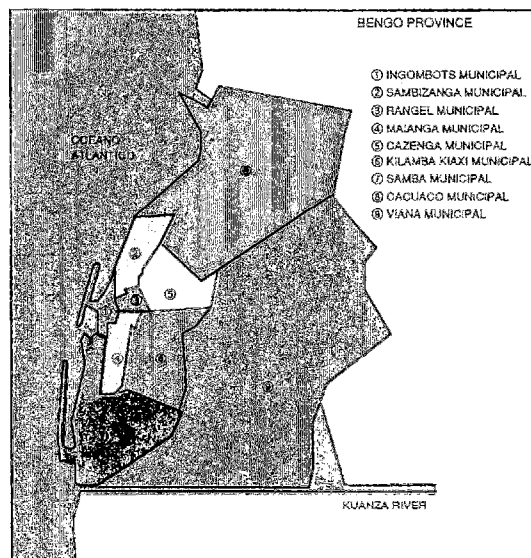


図4-1 ルアンダ州の行政区

表４－２ ルアンダ州行政区

MUNICIPAL	COMMUNITY	面積 (km ²)	人口 (2000年推測)	人口密度
(1) IMGOMBOTA		9.60	252,640	26,317
	1) Imgombotas	1.50	68,351	45,567
	2) Ilha do Cabo	1.90	35,214	18,534
	3) Kinanga	1.60	28,665	17,916
	4) Patrice Lumumba	3.20	73,621	23,007
	5) Maculusso	1.40	46,789	33,421
(2) SAMBIZANGA		14.18	748,963	52,818
	6) Sambizanga	3.55	330,196	93,013
	7) Bairro Operario	1.53	256,947	167,939
(3) RANGEL		6.30	259,974	41,268
	9) Terra Nova	3.50	105,841	30,240
	10) Marcal	1.20	44,988	37,490
(4) MAIANGA		24.70	789,300	31,955
	12) Maianga	2.60	197,328	75,895
	13) Cassequel	3.40	204,427	60,126
(5) CAZENGA		38.80	1,252,314	32,276
	15) Tala-Hady	18.80	174,125	9,262
	16) Cazenga	10.50	519,712	49,496
(6) KIKAMBA KIAXI		64.10	491,778	7,672
	18) Bairro Popular	6.10	271,205	44,460
	19) Golfe	58.00	220,573	3,803
(7) SAMBA		345.30	268,974	779
	20) Corimba	2.50	180,659	72,264
	21) Futungo de Belas	30.90	48,717	1,577
	22) Benfica	272.20	36,463	134
	23) Mussulo	39.70	3,135	79
(8) CACUACO		571.70	223,938	392
	24) Cacuaco	294.90	166,199	564
	25) Funda	276.80	57,739	209
(9) VIANA		1,343.30	316,035	235
	26) Viana	659.40	284,430	431
	27) Kalumbo	210.00	13,287	63
	28) Barra Kwanza	473.90	18,318	39

(出所：保健省 2000年資料)

４－２ 保健医療行政機構

保健医療に関連する政策の立案と予算計画、長期開発戦略の策定、更に国公立の施設・機関の運営管理等は中央保健省が管轄している。保健省の管理下にはあるが、州レベルでは州保健局がその責を担っており、各州レベルにおいて保健政策が策定されている。また、医療施設・機関の運営、管理は、中央保健省がルアンダ州に位置する国立の医療施設・機関を管理し、各州保健局が州レベルに位置する医療施設・機関を管理している。

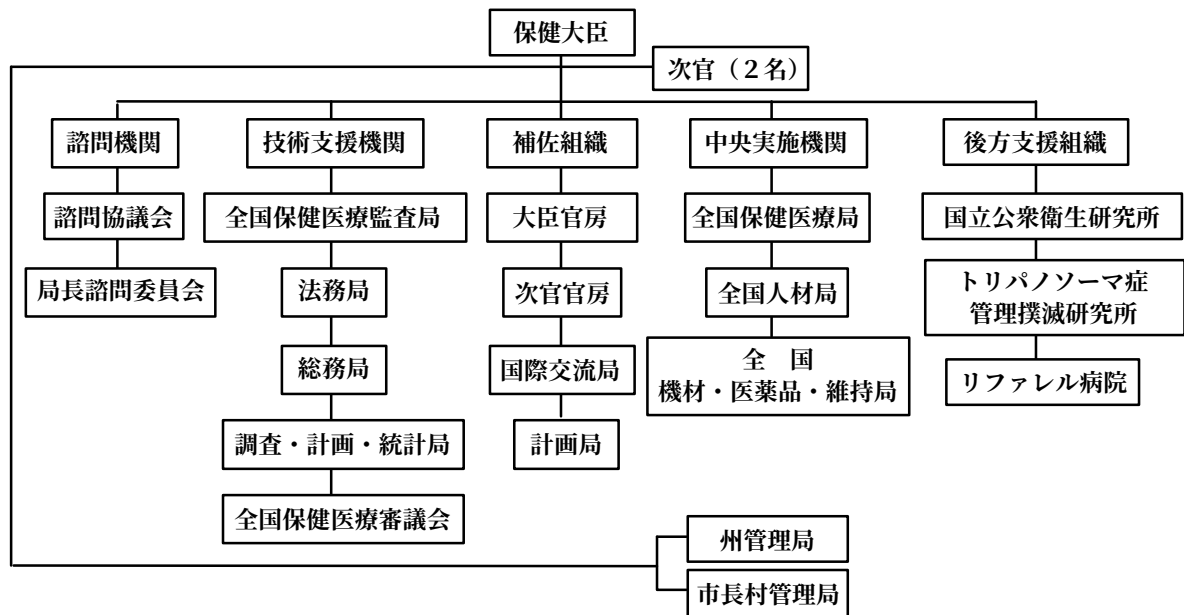


図4-2 保健省組織図

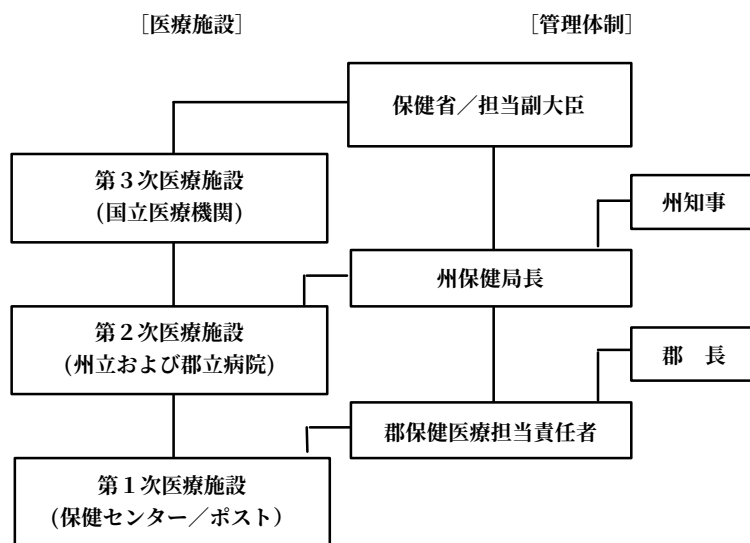


図4-3 保健・医療行政機構

4-3 医療施設

「ア」国における保健医療サービス体制は、中央、地方を含めた公的医療機関と営利を目的とした民間医療機関、NGOの医療団体に大別される。医療施設は全国に約1,650か所設置されているが、このうち約120施設（約8%）が私立の個人クリニックである。全体の約92%を公的医療機関が占めており、実質的に公的医療施設が保健医療サービスの責を担っている状況にある。

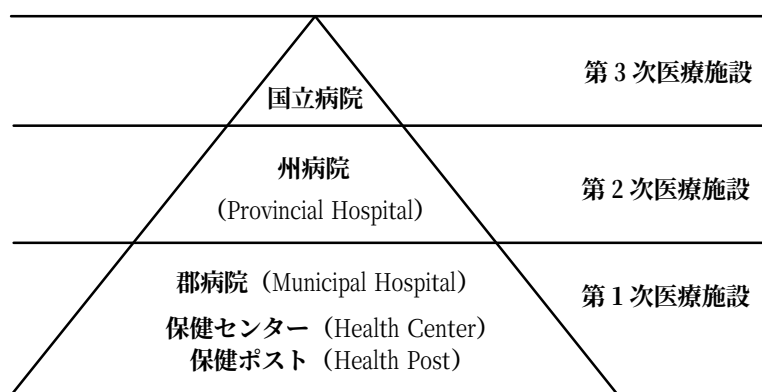


図4-4 公的医療施設とリファレル体制

表4-3 州別医療施設数

州 名 (Province)	病 院	保健センター	サブ保健センター 保健ポスト	合 計
1. Bengo	2	3	53	58
2. Benguela	9	22	59	90
3. Bie	1	4	19	24
4. Cabinda	4	9	62	75
5. Cuando Cubango	2	0	69	71
6. Kwanza Norte	2	12	24	38
7. Kwanza Sul	8	29	111	148
8. Cunene	2	7	61	70
9. Huambo	12	16	80	108
10. Huila	8	80	472	560
11. Luanda	12	27	36	35
12. Lunda Norte	5	4	7	16
13. Lunda Sul	1	8	22	31
14. Namibe	3	8	52	63
15. Malange	1	8	15	24
16. Moxico	3	6	12	21
17. Uige	2	1	73	76
18. Zaire	3	4	21	28
合 計	80	248	1,248	1,536

(出所：保健省 1999年資料)

表 4－4 主要な私立医療施設（ルアンダ州に位置）

施設名	運営形態	立地場所	医師	医師補助	看護婦	検査	放射線	病床数	診療実績
Clinica Sagrada Esperanca	企業	Ilha	170	112	100	1	1	60	694
Clinica da Sonangol	企業	Ingombota	54	53	80	1	1	33	351
Clinica da Mutamba	個人	Ingombota	50	36	-	1	1	15	779
Clinica da Meditex	個人	Ingombota	38	43	36	1	1	41	534
Clinica G. Muralha de China	個人	Ingombota	44	7	4	1	-	5	327
Clidopa Angola Lda	個人	Ingombota	33	13	37	1	1	29	4,770
C.P. Alvalade	個人	Alvalade	5	54	-	1	1	22	1,871
Clinica da Mulemba	企業	Ngola Kiluange	9	10	1	1	1	11	2,096

*1999 年における月平均外来患者数

**各施設の医療従事者数はアソシエイト（登録従事者）人数を含んでいる

（出所：保健省 1999年資料）

(1) ルアンダ州における医療施設の状況

2000年3月より、ルアンダ州に位置している国立の医療施設・機関は独立法人扱いとなり、運営予算は保健省の認可はいるものの、直接大蔵省へ申請する体制となった。州レベルでは、州の高次医療サービスを担う機関として州立病院が設置されており、傘下の郡レベルでは、郡立病院、保健センター等が医療サービスの提供を担う施設として設置されている。州立病院は基本的に各州に1施設あるが、郡立病院については各郡に1施設設置されているわけではなく、ルアンダ州を例にとっても3施設程度であり、地域住民の第1次医療サービスへのアクセスは保健センター（Health Center）により担われている。また、各郡の地方域には保健ポスト（Health Post）があるが、診療サービスを提供するというよりは、常駐、巡回看護婦が地域住民の健康相談を担い、少量の必須医薬品の提供を行っている程度に過ぎない。

ルアンダ州では、国立医療機関をはじめ、州立病院が2施設、郡立病院が3施設、保健センターが27施設ある。視察を行った保健センターは、基本的に外来診療、妊産婦・乳幼児の定期検診、血液、尿の簡易検査（マラリア、白血球計数、血液凝固、性病培養検査等）、ワクチン接種、栄養指導等の提供を行う施設として機能している。しかしながら、劣悪な統計値となっている妊産婦・乳幼児死亡率の低減を目的に、近年、EUなどの支援を受け保健センターの整備が進められている。今までは普通分娩に至るまでルクレシア・パイン等の産婦人科専門病院に妊産婦の一極集中がみられ、結果として十分なサービスの提供が行えないような状況に陥った経緯がある。このような状況から、普通分娩は下位の保健センター・レベルで扱い、専門病院では本来の診療サービスを提供できるような体制を整えようと保健センターの整備に着手したものである。これらの支援が行われたセンターでは、一般診療棟（従来の保健センター、一般的な外来診療を行う施設）とは別棟（分娩室、産前・産後観察室等が備わっている）として産科棟の建設が進められている。さらに、家族計画としてIUDの提供、

ピル・ Condom 等の無料支給が行われはじめているが、家族計画という概念がいまだ地域住民には馴染んでいない状況にあり、各センターで実施した聞き取り調査では1日10件以下の施設がほとんどであった。また、放射線撮影、歯科診療等を行っている施設もある。特に、郡立病院や保健センターでは、各施設によって提供可能な診療サービスの内容が統一化されておらず、保健省担当官もサービスの統一化を今後の課題としてあげていた。一般的に郡立病院は病棟施設を有し、帝王切開までを行っている。それらのサービスを提供できない施設を保健センターと呼んでいる。しかしながら、ルアンダ州でさえ、帝王切開が行える施設は国立ルクレシア・パイン産婦人科病院 (Lucrecia Paim)、ガングラ州立産婦人科病院 (Augusto Ngangula) とカジュエラス郡立病院 (Cajueiros) の3施設であり、すべての郡立病院で提供は可能ではない。また、保健センターについては、外来診療一般に検査の提供にとどまっている施設と、これらに加えて放射線撮影、普通分娩が行える施設と大別することができる。

表4-5 ルアンダ州における公的医療機関／病院

管理機構上の区別	施設／機関名
(1) 国立	1. Hospital Josina Machel (総合病院、MAIANGA郡)
	2. Hospital Americo Boavida (総合／大学付属病院の機能も有する、RANGEL郡)
	3. Hospital Sanatorio de Luanda (結核療養所、KILAMBA KIXI郡)
	4. Hospital Maternidade Lucrecia Paim (産婦人科専門病院、INGOMBOTA郡)
	5. Centro de Reabilitacao Fisica (リハビリテーション・センター、MAIANGA郡)
	6. Hospital Psiquiatrico de Luanda (精神病院、MAIANGA郡)
	7. Hospital Pediatrico de Luanda (小児病院、MAIANGA郡)
	8. Hospital Prenda (外傷専門病院、MAIANGA郡)
	9. Laboratorio Nacional de Saude Publica (検査センター、MAIANGA郡)
	10. Centro Nacional Sngue (血液センター、MAIANGA郡)
	11. Ortopedico VIANA (VIANA整形外科病院、VIANA郡)
	12. Instituto Eftalmo (眼科専門病院)
	13. Instituto Superior de Enfermagem (高等看護学校、SAMBA郡)
(2) 州立	1. Maternidade Augusto Ngangula (産婦人科専門病院、INGOMBOTA郡)
	2. Hospital Neves Bendinha (火傷治療病院、KILAMBA KIXI郡)
	3. Escola Tecnica Prov. de Publica (医療従事者初等専門学校、MAIANGA郡)
	4. Instituto Medio de Saude de Luanda (医療従事者中等専門学校、MAIANGA郡)
(3) 郡立	1. Hospital Cajueiros (Cajueiros郡立病院、CAZENGA郡)
	2. Hospital Kilamba Kixi (Kilamba Kixi郡立病院、KILAMBA KIXI郡)
	3. Hospital PSDP (PSDP郡立病院、KILAMBA KIXI郡)
(4) 軍管轄	Hospital Militar (軍病院、INGOMBOTA郡)

(出所：保健省 2000年資料)

表４－６ ルアンダ州における公的医療機関／保健センター

Municipal (郡) 名	Community (町) 名	施設名
1. INGOMBOTA	(1) Ingombotas	1) February 4 Health Center
		2) Ingombotas Health Center
		3) Partida Health Center
	(2) Ilha do Cabo	4) Ilha Health Center
	(3) Kinanga	5) Kinanga Health Center
	(4) Patrice Lumumba	
	(5) Maculusso	
2. SAMBIZANGA	(6) Sambizanga	6) Sambizanga Health Center
	(7) Bairro Operario	7) Bairro Operario Health Center
	(8) N 'gola Kiluanje	8) N 'gola Kiluanje Health Center
3. RANGEL	(9) Terra Nova	9) Terra Nova Health Center
	(10) Marcal	
	(11) Rangel	10) Rangel Health Center
4. MAIANGA	(12) Maianga	11) Maianga Health Center
		12) Katambor Health Center
	(13) Cassequel	13) Cassequel Health Center
	(14) Prenda	14) Prenda Health Center
5. CAZENGA	(15) Tala Hady	15) Cariango health Center
		16) Tala Hadi Health Center
	(16) Cazenga	17) November 11 Health Center
		18) Asa Branca Health Center
	(17) Cuca	19) Siga Health Center
		20) Hoje ya Henda Health Center
6. KILAMBA KIAXI	(18) Bairro Popular	21) Neves Bendinha Health Center
		22) Palanca Health Center
	(19) Golfe	
7. SAMBA	(20) Corimba	23) Kinanga Health Center
		24) Cabeleira Health Center
		25) Samba Health Center*
	(21) Futungo de Belas	
	(22) Benfica	
	(23) Mussulo	
8. CACUACO	(24) Cacuaco	26) Cacuaco Health Center
	(25) Funda	
9. VIANA	(26) Viana	27) Viana Health Center
	(27) Calumbo	
	(28) Barra Kwanza	
総 計	28 Community (町)	27

*新たな保健センターが建設中である

(出所：保健省 2000年資料)

1) ジョジナ・マシェル病院 (Hospital Joshina Machel)

同病院は、1883年に修道院として建設された経緯をもつ病院であり、約5年前に我が国の無償資金協力により機材整備が行われている。同国の国立病院のなかでは最も規模の大きい総合病院として、一般市民に対し診療サービスの提供を行っている。900床の病棟を有し、医師78名（アンゴラ人51名、外国人27名）、看護婦821名、技術者97名、その他1,184名、総従事者数2,180名、1999年統計では外来20万455人、入院1万4,655人の患者を扱っている。脳神経外科や耳鼻咽喉科などをはじめとした特殊疾患患者を扱っている等の特徴を有する病院である。今次調査において、施設の改修工事を行っている集中治療室をはじめ、救急外来、検査、耳鼻咽喉科、歯科診療に関連する医療機材の不足がみられた。

2) ルクレシア・パイン産婦人科病院 (Hospital Maternidade Lucrecia Paim)

同病院は、新棟（8階）、旧棟（3階）、家族計画指導棟（平屋）の3棟を主施設とした産婦人科専門病院であり、我が国の無償資金協力による医療機材の整備が予定されている（2001年2月完工予定）。同施設は築後40～50年経過しており、至る所で改修の必要性が見受けられ、救急外来、分娩、手術の各診療サービス科では、スウェーデン政府の援助による施設の改修整備（内装、水まわり等）が実施されていた。施設の整備とともに我が国の援助による医療機材の整備が行われる状況にあり、妊産婦診療サービスの改善が期待されている専門病院である。

3) 医療従事者養成学校

首都ルアンダに位置する同施設は、ポルトガル国の植民地時代に設立（1962年9月）された「ア」国において最も古い医療従事者養成学校（初等専門教育機関：Escda Technica Prov. de Saude及び中等専門教育機関：Instituto Medio de Saude de Luanda）である。設立時はポルトガルの植民地下にあった他の4か国（モザンビーク、カーボ・ベルデ、サントメ・プリンシペ、ギニア・ビサオ）においても唯一の養成機関であった歴史のある教育機関である。生徒数は、2年の初等教育専門コースに525名、左記施設に隣接し、その卒業生が対象となる中等専門教育コース（更に2年間の専門教育課程を担う機関）には503名が在籍している。同養成機関は、それぞれ、看護婦、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、物理療法師、整形外科療法師の6つの専門コースが設けられている。教員は、初等教育専門機関でアソシエイト教員を含め53名、中等専門教育機関では10名が従事している。

「ア」国の医療従事者教育は、8年の一般教育を経た者が2年間の初等専門教育を受け

る（教育グレードでは9年目と10年目に相当）。そのあと、同じく2年間の中等専門教育（11年目と12年目に相当）を受け、看護婦であれば正看護婦の資格が与えられる。さらに、上記の教育を終了した者が高等看護専門学校（Instituto Superior de Enfermagem）に進むことが出来る。

4) 保健センター（Centro de Saude）

地域住民の第1次アクセス施設となる保健センターは、外来〔一般、小児、産科、家族計画、栄養指導、予防接種、経口補液（水）療法（ORS）〕診療と検査サービス（有料）を行っている施設であるが、施設によっては分娩、放射線診断、歯科診療サービスを行っているところもある。母子診療に関しては出産前の妊婦検診、5歳児程度までの乳幼児検診が主なサービスとなっている。有床施設もあるが、それらの病床は入院加療を目的としたものではなく、ほとんどが3～5日前後の観察程度を目的とした設備である。また、無料で必須医薬品程度の提供も行っている。一般的に保健センターは、外来診療と予防接種、母子検診や家族計画指導、ほかにマラリア程度の血液検査を行っている施設といえる。ほかに、救急、観察病棟、放射線診断、分娩施設等が加わっている施設もあるが、規模が大きくなると郡（Municipal）病院と呼ばれる施設となる。

4-4 医療従事者

「ア」国では唯一の医師の輩出機関となるアンゴラ大学医学部は、アメリコ・ボアビダ病院に隣接し、ジョシナ・マシエル病院及びブルクレシア・パイン産婦人科病院等を教育実習病院として医師の育成に携わっている。医師（一般医）になるためには、6年間の教育を受けなければならない、更に専門医をめざす場合には、更に5～6年の研修が必要である。現状は外国人医師に頼っており、アンゴラ人専門医はわずかな数と推測される。

現在の医学部学生は、1～6学年合わせ600名程度が在学しているが、卒業生は毎年、およそ60～70名程度である。毎年、150名前後の学生が入学しているが、卒業する学生は約半数程度になっている。

「ア」国の医師不足は視察病院においても顕著にみられ、ジョシナ・マシエル病院では78名中27名、保健センターにおいてもヴィエトナム人、ブルガリア人等、それぞれ1～2名が勤務している状況にあった。多くの外国人医師は技術協力要員として派遣されている医師である。

看護婦の養成機関は私立の専門学校もあるが、基本的には公的教育機関である初等・中等養成学校（州立）が、その主たる養成機関（8年間の一般教育を受けた者が対象）となっている。規模の大小はあるが、多くの州に配置されており医療従事者の育成・輩出機関となっている。また、看護婦（士）の指導者となるべき人材を養成する機関として、国立の高等看護婦（士）養成学校

（初等・中等養成学校を卒業した者が対象）がルアンダ州にある。高等看護婦（士）養成学校は、看護管理と助産婦コースがあり、毎年30～50名程度の卒業者を輩している。

ルアンダ州における医療従事者養成学校（初等・中等）では毎年、250名前後の学生が入学しており、それぞれ2年間の初等教育と中等教育を経て各医療施設へ配属されている。

特に、専門医をはじめとする医師の不足は深刻であるが、看護婦については要員レベルの底上げ、再教育が直面している課題である。各州に存在する医療従事者養成学校は再教育の機関としても重要となり、技術レベルの向上を重点課題と掲げている観点からもその整備・強化は重要である。

表4-7 「ア」国における医療従事者の状況

州 名	医 師	看護婦	薬剤師	検査技師	合 計
1. Bengo	10	-	-	-	10
2. Benguela	50	1,598	7	38	1,693
3. Bie	7	747	1	12	767
4. Cabinda	60	525	7	63	655
5. Cuando Cubango	-	-	-	-	-
6. Kwanza Norte	13	-	-	-	13
7. Kwanza Sul	19	476	2	46	543
8. Cunene	11	337	-	16	364
9. Huambo	24	-	-	-	24
10. Huila	44*	-	-	-	44*
11. Luandda	532*	-	-	-	532*
12. Lunda Norte	28	-	-	-	28
13. Lunda Sul	17*	-	-	-	17*
14. Namibe	18	359	33	57	467
15. Malange	9*	-	-	-	9*
16. Moxico	8	45	-	27	80
17. Uige	10	736	10	22	778
18. Zaire	7	-	-	-	7
合 計	867	4,823**	60	281	6,031

*1998年統計値 -印：不明

**看護婦数：関係者からの聞き取りでは、総計約1万2,000名前後に及んでいるといわれている

（出所：保健省 1999年資料 プロジェクト形成調査 2000年10月）

表4-8 保健省発表による理想的な医療従事者数と地域別（施設別）配置案

区 分	病床数	医師数	看護婦数	技術者数	補助要員	その他	合 計
ルアンダ州	2,205	829	1,414	449	676	295	3,663
ルアンダ州を除く各州立病院及び郡立病院	9,714	971	6,605	1,982	2,973	1,321	13,852
保健センター／ポスト	-	203	4,672	269	538	2,545	8,227
合 計	11,919	2,003	12,691	2,700	4,187	4,161	25,742

（出所：保健省／DNRH 1999年資料）